

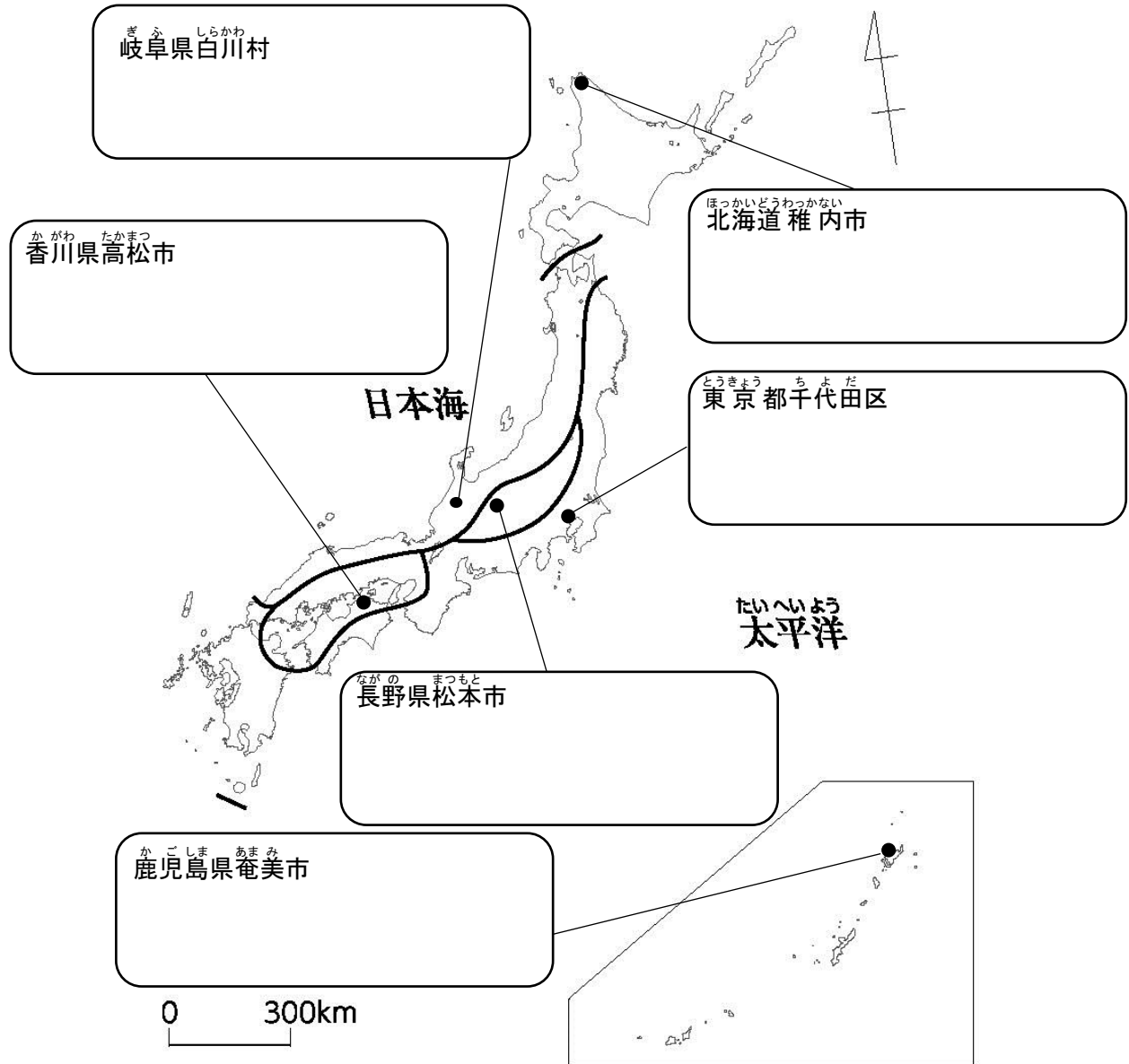
1 日本の国土とわたしたちの暮らし

組 名前

国土の気候と地形の特色

日本のさまざまな気候

① 教科書22ページを参考にして、各地の気候の特色を書きましょう。



② 教科書にある気温と降水量こうすいりょうのグラフの中から、二つを選び、くら比べてわかったことを短い文で書きましょう。

○選んだ地域 () と ()

1 日本の国土とわたしたちの暮らし

組 名前

自然条件じょうけんと人々の暮らし

あたたかい地域ちいきと寒い地域, 高地と低地

① それぞれの地域の人々がどのような暮らしをしているか予想して書きましょう。

選んだほうの地域に○をつけましょう。

○あたたかい地域おきなわ (沖縄県) ・ 寒い地域ほっかいどう (北海道)

○標高の高い地域ながの みなみまき (長野県南牧村) ・ 標高の低い地域ちば かとり (千葉県香取市)

② それぞれの地域でどのような産業がさかんなのか, 予想して書きましょう。

どの資料しりょう (教科書かぎに限らない) をもとにして予想したか, () の中に書きましょう。

○あたたかい地域・寒い地域

○標高の高い地域・低い地域

地域 :

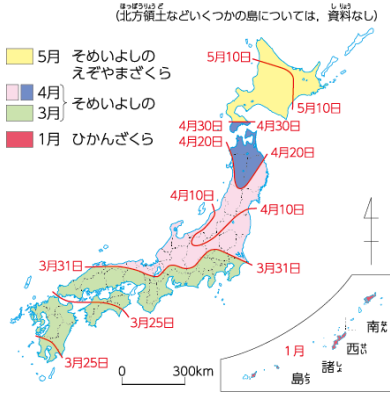
()

地域 :

()

2 国土の気候と地形の特色

1 下の資料を見て、問題に答えましょう。



↑桜がさく時期のちがい



↑日本の地形

(1) 桜がさく時期は、次の地方では何月でしょう。

① 北海道の北部

② 沖縄県などの南西諸島

月

月

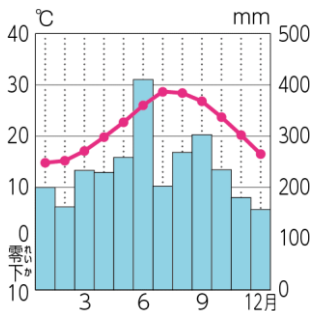
(2) 桜がさく時期のちがいや、日本の地形について話し合っています。

正しい考えには○を、まちがっている考えには×を () に書きましょう。

- ① 桜は、北の地方から順にさき始めているね。 ()
- ② 日本は南北に細長い国土だから、桜のさく時期に大きなちがいが出るのだと思うよ。 ()
- ③ 土地の高さも、桜のさく時期に関係しているようだね。 ()
- ④ 日本の国土の中では、山地より、平野のほうが広いね。 ()
- ⑤ 山脈は、日本列島の中央を通っているね。 ()
- ⑥ 大きな平野は、川が流れこむ海ぞいに広がっているよ。 ()

2 下のグラフA～Dは、日本のさまざまな地域の気温と降水量を表しています。次の問題に答えましょう。

(1) グラフAとグラフBは、日本の北側と南側のどちらかの地域のものです。それぞれの気温と降水量を見て、特色を説明し、「北側」と「南側」のどちらかを書きましょう。

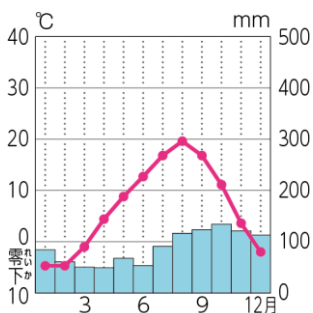


グラフA

特色

グラフAは

側のものである。



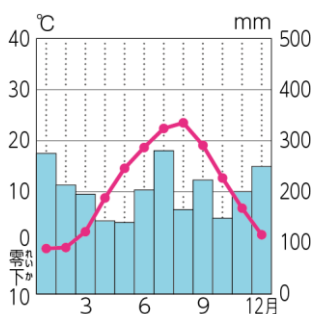
グラフB

特色

グラフBは

側のものである。

(2) グラフCとグラフDは、日本海側と太平洋側のどちらかの地域のものです。それぞれの降水量を見て、特色を説明し、「日本海側」と「太平洋側」のどちらかを書きましょう。

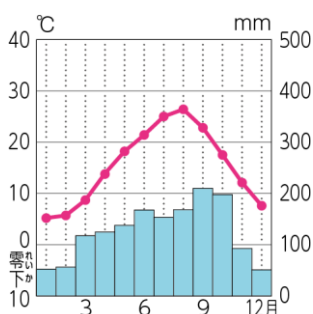


グラフC

特色

グラフCは

側のものである。



グラフD

特色

グラフDは

側のものである。

3 次の文章は、日本の気候の特色をまとめたものです。()にあてはまる言葉を
 から選び、記号を書きましょう。

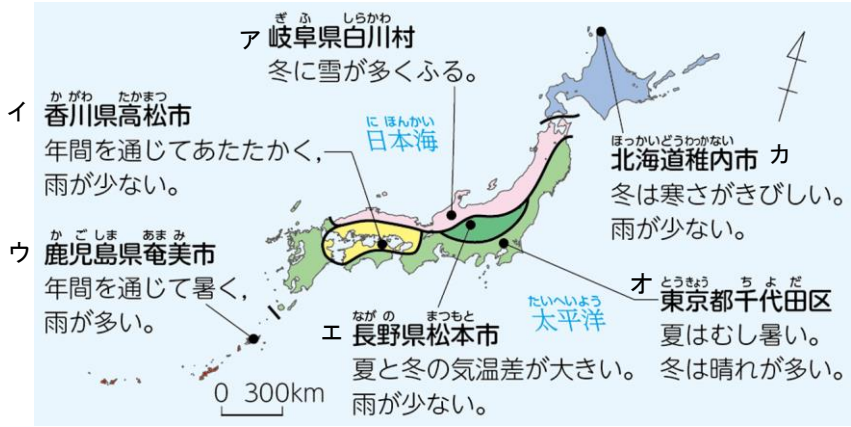
日本には、春夏秋冬の()があります。

6月から7月にかけて、主に北海道以外の地域では()の時期に入ります。また、夏から秋には、日本の南側から()がやってきます。

冬に()の地域では、雪が多く積もります。これは、国土の中央に連なる()と、()のえいきょうによるものです。

- | | | | |
|-----------------------------|------------------------------|-------|------------------------|
| ア <small>にほんかい</small> 日本海側 | イ <small>たいへいよう</small> 太平洋側 | ウ 台風 | エ 四季 |
| オ 山地 | カ 平地 | キ 季節風 | ク <small>つゆ</small> 梅雨 |

4 日本の気候は、下の図のように大きく六つに分けられます。図のア～カから二つを選んで()に書き、そのちがいの理由を考えて書きましょう。



() と () で
 気候がちがう理由